

目次

国立病院総合医学会レポート	1
国立病院総合医学会演題発表一覧	2
看護部だより	3
アラカルト「感染対策チームの活動」	
患者数	4
秋の健康フェスタ	5
糖尿病教室お食事会のお知らせ	
医療安全管理室より	
新任医師・職員紹介	6
外来医師担当表	7

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
 国立病院機構
 発行責任者：長沼博文
 住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35
 電話：055-253-6131
 ファックス：055-251-5597
 ホームページ：http://www.hosp.go.jp/~kofu-hospital/
 Eメール：kofu@kofu.hosp.go.jp



Merry Christmas!

「病院のクリスマスツリー」

例年恒例かつご好評となっている重症心身障害病棟前のイルミネーション（メイン写真）ですが、病院の事務部職員で飾り付けを行っています。

今回は中心に柱を立て、柱のてっぺんから円錐形になるようにピアノ線を張り、それにイルミネーションを巻き付けました。クリスマスツリーをイメージしての作成ですが、いかがでしょうか？

（文・事務部管理課庶務係長 田崎 憲祐）



独立行政法人 国立病院機構 **甲府病院** の理念
National Hospital Organization Kofu National Hospital

理念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針

- 丁寧な説明に努めます
- 自己研鑽に励みます
- 職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします
 病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

第68回 国立病院総合医学会レポート

11月14日・15日の2日間、横浜市において「第68回国立病院総合医学会」が行われました。全国143施設から、8千名以上の参加者が集まる大きな学会です。当院からも多数の職員が演題発表を行いました。今回は学会で発表し、ベスト口演賞を受賞したスポーツ・膝疾患治療センター 落合聡司センター長から報告させていただきます。

「後十字靭帯再建術の治療成績～2年間の前向き調査～」

スポーツ・膝疾患治療センター センター長 落合 聡司

2014年11月14日～15日に横浜市において開催された、第68回国立病院総合医学会に参加してまいりました。

私は口演セッション「骨・運動器・リウマチ-2 関節」において『後十字靭帯再建術の治療成績～2年間の前向き調査～』を発表しベスト口演賞をいただきました。

調査に御協力いただきました患者さん達(※)や当院スタッフの皆さんに心より感謝いたします。今回の発表の結果を基に、より良い治療を提供できるよう努めてまいります。



こうえん
口演を行う落合センター長

本発表の内容は、膝関節の安定化を担う靭帯のうち、後十字靭帯を損傷した患者さんの手術治療成績を2年間にわたって調査し、検討したものです。本調査の結果、測定器械などを用いた医療側の治療評価が高くて、患者さんの満足度は低いことがあることが結論づけられました。治療方法の見直しが必要であることや、治療が医療側の自己満足とならないよう注意を要することを発表の主旨としたことが学会で御評価いただけたいと思います。



こうえん
ベスト口演賞の記念品を手に

※：当スポーツ・膝疾患治療センターでは最良の治療を追及するため、治療を受けられる方々にアンケート調査を頻回に行っております。煩わしいとは存じますが、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

第 68 回 国立病院総合医学会 演題発表一覧

	区 分	セクション	演 題 名	演 者	
🌸	1	口演	骨・運動器・リウマチ-2 関節	後十字靭帯再建術の治療成績 ～2年間の前向き調査～	整形外科 落合 聡司
	2	口演	骨・運動器・リウマチ-2 関節	膝前十字靭帯損傷に伴う半月板断裂の検討	整形外科 萩野 哲男
	3	口演	重症心身障害-1 医療	骨密度と移動能力及び生活機能評価 (LIFE) を用いた重症心身障害者における骨折リスクの予測の検討	リハビリ科 桔梗 隆司
	4	シンポジウム	周産期医療崩壊から、医療 資源の偏在と対策を考える	山梨県における産科診療の変遷と展望	産婦人科 滝澤 基
	5	シンポジウム	重症心身障害児 (者) 病棟 での骨折予防	骨折予防ケアに対する多職種との協働～骨折予防プロジェクトチーム発足から現在までの活動について～	8病棟 永嶋 まゆみ
	6	ポスター	重症心身障害-8 連携	成年後見人を受任する家族に対する支援の現状と今後の支援方策	療育指導室 桃井 めぐみ
	7	ポスター	薬剤・薬理・薬剤管理-4 薬物治療	重心病棟における処方簡素化への取り組み～その後～	薬剤科 寺田 芳弘
	8	ポスター	重症心身障害-10 療育	生活の幅を広げ、集団生活を楽しむために ～光刺激に対する発作があるA児へ～	療育指導室 林野 このみ
	9	ポスター	放射線診断・画像診断-8 CT-4	内臓脂肪測定における X 線 CT 装置の最適条件の検討	放射線科 田中 敏博
	10	ポスター	看護総合-8 退院支援-2	糖尿病透析予防管理指導実施後の患者の実態と今後の課題	外来 秋山 晴美
	11	ポスター	看護総合-14 患者指導	妊娠中に継続的なフォローアップを行ったハイリスクケースの分析	2病棟 小田切 智子
	12	ポスター	看護総合-12 周術期-2	手術時手洗いのウォーターレス法導入に向けた取り組み	手術室 角田 裕子
	13	ポスター	骨・運動器・リウマチ-2 膝関節	入院中における前十字靭帯再建術を受けた患者の退院指導～入院中の患者のニーズに沿った退院指導～	3病棟 福田 美千子
	14	ポスター	重症心身障害-19 ケア	重症心身障害児 (者) へのリフレクソロジーによる下肢への温熱効果、保温効果への取り組み	7病棟 佐山 邦香
	15	ポスター	看護総合-21 内服管理	当病棟における看護師の内服管理に対する判断基準の現状調査	4病棟 大高 直子
	16	ポスター	病院組織、経営・管理-8 病院運営-1	院内道路の保全を職員で行い来院時の事故を防止する	経営企画室 高山 一
	17	ポスター	重症心身障害-19 ケア	重症心身障害児の睡眠覚醒リズムの改善を図る試み～一定時間の車いす乗車を行なって～	8病棟 中野 有姫
	18	ポスター	重症心身障害-22 その他	多機能型通所支援事業における日中活動のあり方	療育指導 片桐 有佳
	19	ポスター	リハビリテーション-18 評価	膝関節鏡手術患者における筋電気刺激 (EMS) の有用性の検討	リハビリ 井戸 範光

(順不同・会場にて発表した職員のみ掲載) 🌸…ベスト口演賞受賞





看護部 だより

「2病棟小児科を紹介します」

2病棟 看護師一同

当院の2病棟は産婦人科・小児科と新生児病床のNICU（新生児集中治療室）・GCU（新生児治療回復室）があります。

小児科の対象は、15歳未満の子どもです。子どもは免疫力が大人よりも低く、病気になりやすい傾向にあります。小児科に入院する子どもは気管支炎や肺炎といった呼吸器疾患が多く、これから訪れる冬の時期は特に注意が必要になります。また、熱性けいれんなど子ども特有の疾患が多いのも特徴です。そのため、それぞれの疾患や年齢、発達段階に合った看護を行うことが求められます。

私たち看護師が日頃より大切にしていることは、病気や治療についてその子がわかるような方法で説明し、子どもなりに納得できるような関わりをすることです。例えば、何をされるかわからない不安や緊張・恐怖心は、子どももご家族も抱いているので、そのような思いは最小限に抑えたいと考えています。看護師が実際に行っている関わりのポイントは4つあります。子どもだからといって嘘やごまかしをせず正しい事を伝えること、どんな気持ちかするのか子どもが感情を表現できるように助けること、ご家族にも子どもと一緒に心の準備をしてもらうこと、医療スタッフと信頼関係を築くことです。具体的には、病気について子どもたちが分かり易いように、イラストを入れた資料を使って説明をしたり、注射の針を刺すときは、

「消毒するね、ちょっと冷たいよ」

「針を刺すときはチクッとすよ」

と順番に説明します。どんな味がする、どんな音がする、どんな匂いがするなど、子どもが経験する感覚的なことを正直に話すようにしています。

点滴治療の必要な子どもが入院した時にはキャラク



ターの絵が描かれた点滴固定用のテープを貼ります。この絵は、看護師が一つ一つ手書きで、作っています。「頑張る力が出ますように!!!」「早く良くなりますように!!!」と、願いを込めています。

好きなテープを、子どもが選ぶ時、表情が和らぐ瞬間があります。点滴治療中の子どもを見るのはつらいですが、この時ばかりは私たちも子どもと一緒にうれしくなります。そして、一緒に頑張ろうねと声をかけています。



キャラクターテープ作成中

小児科病棟の廊下には、季節の飾りつけを行なっています。かわいい飾りを見て、少しでも子どもやご家族の気持ちが和らいだらいいなと思っています。飾りは、子どもたちと一緒に、楽しく作成することもあります。入院生活の楽しみや喜びが、病気の回復につながることもあるからです。



クリスマスバージョン飾り・患児と一緒に作成

子どもが入院するという事は、ご家族にとっても大変不安であり心配なことが多いと考えます。

そのような気持ちを十分に考え、安心して入院生活が送れるように安全で優しい看護を心がけています。

これからも、小児科病棟に入院する子どもやその家族に優しく丁寧な看護を提供したいと思っています。

アラカルト

「感染対策チームの活動」

感染管理担当看護師長 藤巻 好廣

今日、感染制御を取り巻く環境は大きく変化してきています。MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）等の抗生物質が効かない耐性菌の出現、最近では新型インフルエンザやエボラ出血熱など、ニュースで話題となっています。

当院では現在、山梨大学医学部附属病院、峡南医療センター峡南病院と連携を取り感染対策についてカンファレンスを実施し、感染症についての情報交換や検討、問題点などの解決を行い、当院の感染対策に役立っています。

病気や怪我を治すために入院したのに、別の病気に感染してしまい重症化し、時には命さえ落としてしまう。患者さんを救おうと努力して、医師・看護師も常に感染のリスクにさらされている。このような理不尽な感染が起きないように、当院でも委員会やチームで取り組んでいます。

感染対策チーム（ICT：InfectionControlTeam「インフェクション・コントロール・チーム」以下、ICT）は、病院内のすべての感染対策を組織横断的に行うチームで、テレビや新聞などで多くの方々が院内感染（病原体が職員を介して院内に広まること）という言葉を目にするかと思いますが、日々病院内で活動しています。ICT活動として、例えば院内感染がないよう、各現場で手指衛生等の感染対策が適切に行われているか、患者さんの療養環境が清潔に整備されているかなど、現状を把握するために定期的な院内巡視を行い、患者さんが安心して治療や入院生活を送られるように清潔な病院の環境を整えると共に、職員も安全に従事できるようにしています。



院内巡視の風景

今年度より毎月開催している看護部感染対策委員会においても、リンクナース（感染対策担当看護師）同士で院内巡視を行い、結果報告を基に自部署の改善を図っています。ICT委員には、感染対策を専門とする熟練した看護技術および知識を用いて水準の高い看護実践を行う感染管理認定看護師も活動しており、その指導の下、各部署のリンクナースは、今年度「手指衛生の充実」を目標として、設置されている手指消毒剤が適切に使用されているかなど感染防止の役割を果たしています。また、感染対策に関する勉強会も実施し、リンクナースも知識・技術の習得ができるよう指導を行っています。

・研修や勉強会の様子



6月24日開催
N95 マスクの正しい装着
勉強会



12月8日開催
ノロウイルス嘔吐物処理
演習

感染症には様々なものがありますが、感染防止対策の基本は「手洗い」です。今年も冬季になり、インフルエンザ・ノロウイルスの流行が予測されますが、職員はもちろん患者の皆様も食事前や排泄後、外出や外泊後はしっかり手洗いを行いましょう。

平成 26 年度一日平均患者数

入院

※ 11 月分及び年間累計は 11 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

月別 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般	109.9	92.9	94.7	114.3	103.6	108.7	101.2	110.7					104.5
重心	125.0	126.0	126.8	125.7	125.7	125.5	123.4	123.9					125.2
計	234.9	218.9	221.4	240.0	229.3	234.1	224.6	234.6					229.7

外来

※ 11 月分及び年間累計は 11 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	264.3	274.1	268.7	277.8	264.3	299.2	281.6	293.4					277.5



「北新地区福祉と健康祭り」

10月12日（日）、北新小学校において、第19回北新地区福祉と健康まつりが開催されました。

当院からは長沼博文院長と依田友希作業療法士、井戸範光理学療法士が参加し、講演等を行いました。

まず長沼院長からは、「認知症予防と早期対策について」と題した講演を行いました。（写真①）



続いて依田作業療法士、井戸理学療法士から、脳活性化リハビリテーションの運動の指導を行いました。

運動では、依田作業療法士、井戸理学療法士の指導で参加者は体を動かし、気持ち良い汗をかきました。（写真②）

多数、参加していただき、ありがとうございました。



「朝日通りえびす講祭り」

平成26年11月23日（日）に開催されました、第80回朝日通りえびす講祭りに参加してまいりました。朝から天気にも恵まれ、絶好の祭り日和となりました。



今回は骨密度測定、栄養相談を実施しました。骨密度測定は、年齢・男女を問わず高い関心をもっていた

だき、順番待ちの列ができるほどの多数の皆様に参加していただきました。

皆様、測定結果に一喜一憂されていましたが、今後の生活習慣の見直しや、健康を考える良い機会になっていれば嬉しいです。



10月25日(土)に「骨と糖尿病」をテーマに糖尿病教室お食事会を開催しました。



当日のお食事



荻野診療部長
特別講演

血糖測定

骨密度測定



講義風景

会食風景

2月 平成27年2月開催 糖尿病教室 お食事会のご案内

当院では年に2回(10月・2月)、実際にお食事を召し上がりながら、糖尿病について学んで頂く「お食事会」を開催しています。
一般公開講座ですので、普段当院に通院されていない方もお気軽にご参加いただけます。
糖尿病療養指導チーム「てんじん」が皆さまの糖尿病療養生活をサポート致します。
今回は平成27年2月11日(祝)となっております。
お誘いあわせの上ご参加ください。

次回テーマは「認知症と糖尿病」。
最近、物忘れがひどい…、探し物が多い、なんていう症状ありませんか？
糖尿病では認知症のリスク大！！
美味しく食べて・学びましょう。



【お問合せ】 独立行政法人 甲府病院 地域医療連携室

受付時間 平日午前 8:30～午後 5:00

電話 055-240-6223

FAX 055-240-6225



主催：NHO 甲府病院
糖尿病療養指導チーム「てんじん」

医療安全管理室より

「医療安全院内巡視を実施しています」

各部署のリスクマネジメント小委員(看護部では看護師長・副看護師長)が、他部署へ出向き医療安全マニュアルの周知・実施状況について確認しています。

具体的には『医療安全チェックリスト』を用いて、実際の実施場面が手順に沿って実施できているか、マニュアルの内容を部署内のスタッフが知っているかという視点で2人～3人で実施しています。

どんな立派なマニュアルも活用されなければ何の意味もありません。この院内巡視が単なるチェックで

はなく、マニュアルを周知し活用するための教育的な関わりの方にして、当院へ来院される皆様に安全・安心して頂ける医療の提供に努めていきたいと考えています。



人工呼吸器のチェックはマニュアルに沿ってしていますか？

新任医師・職員紹介



小児科医師

村松 明日香 (むらまつ あすか)

新生児、小児の診療において、より良い医療を目指して努力いたします。



経営企画室長

高山 一 (たかやま はじめ)

10月1日付で東埼玉病院より参りました高山です。よろしくお願いたします。

外来医師担当表

平成 26 年 12 月 1 日現在

…女性医師等

			月	火	水	木	金
一階診察室	消化器内科	診察室	廣 瀬	稲 岡	鈴木(雄)		稲 岡
	消化器外科	診察室 1	鈴木(哲)	浅 川		鈴木(哲)	牧
		診察室 2	浅 川		高橋(ひ)	(乳腺外来) 高橋(ひ)	第1・3・5週 鈴木(哲) 第2・4週 浅川
		化学療法 (五階)	診察室 1		高橋(ひ)	鈴木(哲)	
		診察室 2			浅 川		
	内 科	診察室 3	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊
		診察室 4	黒 澤	黒 澤	黒 澤		黒 澤
		診察室 5	川 口	古 屋	古 屋	中 尾	太田(一)
	呼吸器内科	診察室 4	午前			樋 田	
		診察室 6	午後			細 萱	
循環器内科	診察室 6	薬 袋	中村(淳)		薬 袋		
神経内科	診察室 7			太田(恵)		太田(恵)	
脳神経外科	診察室 8	長 沼	長 沼	長 沼	長 沼	大学医師	
皮膚科	診察室 9 (共用)		安 藤				
整形外科	診察室 10 (共用)				整形外科		
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野		装具外来	萩 野	萩 野	
	2		渡 邊	渡 邊	渡 邊		
	3	落 合	落 合		落 合		
	4	千 賀		千 賀		千 賀	
	5	装具外来					
検 査 室	内視鏡	午前(上部)			村 松	北 橋	
		午後(下部)			大学医師 渡邊		
	超音波	午前	腹部 検査科	腹部 検査科	心臓 薬袋		腹部 検査科
		午後				心臓 薬袋	
小 児 科	1	内 田	内 田	加 賀	久 富	久 富	
	専門外来 1 (午後・予約のみ)	久富・勝又 (循環器・フォローアップ)	久富・大学医師 (フォローアップ・乳児健診)	神 経 加賀	予 防 接 種	フォローアップ 中村(幸) 代 謝 内田	
	専門外来 2 (午後・予約のみ)	神 経 加賀	循環器 勝又			篠原 (フォローアップ・乳児健診)	
	専門外来 3 (午後・予約のみ)	神 経 神谷	神経 中村(幸)	神 経 石井	第 1・3 週 小野(摂食)		
産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	菊 嶋	雨 宮	滝 澤	
	2 (予約のみ)	雨 宮	菊 嶋	大学医師	滝 澤	菊 嶋	
	3	妊健 助産外来			妊健 助産外来		
眼 科		予約のみ 地 場	地 場	地 場		地 場	
泌尿器科(予約のみ)		奇数週 大学医師					
耳鼻咽喉科					矢 崎		

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)
(※水曜日午後呼吸器内科の受付時間は13:00～15:30です(診察13:00～16:00))

※右記のものについて
 ●小児科 専門外来 ●予防接種(小児科) 毎週木曜日 ●乳がん検診 毎週水・木曜日
 ●乳児健診 毎週火・金曜日 ●人間ドック 毎週水・木曜日
 ●毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師 ●脳ドック 毎週月・火曜日午後

助産師・看護師による専門外来のご案内

●母乳外来(月～金曜日) ●フットケア(月～金曜日) ●育児相談(月～金曜日) (※事前の電話予約をお願いいたします)

特殊外来ご案内

・「乳腺外来」については、毎週水・木曜日の午前中に高橋医師(女性)が診察します。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

作品募集

「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。

★宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画係 山田
e-mail:yamada-m@nhokoufu.hosp.go.jp

◇平成 26 年度 職員採用案内◇

看護助手・薬剤師の募集(パート)は随時行っています。

申し込み方法	*下記の電話番号に(土日休日以外)直接ご連絡下さい。
連絡先	国立病院機構甲府病院 庶務係長 TEL:055-253-6131 FAX:055-251-5579

編集後記

今年も残すところあと僅かとなりました。あっという間でしたね。12月といえばクリスマスです。家族と過ごす人、恋人と過ごす人、友人と過ごす人などいろいろな過ごし方があると思います。皆さんにとって良い一日になるようお祈りします。

来年も素晴らしい年になりますよう、頑張ってくださいませ。(H)